

編集後記

今シーズンも雪が少なかった北海道では、2月末までに数回のドカ雪があり新千歳空港では6回も大規模な欠航が発生しました。急激な気象の変化が局地的に常態化し始めています。山々の積雪の様子はいかがでしょうか。

米国には新しくオバマ大統領が誕生しました。地球温暖化防止への政策は確実に変わるでしょう。彼がよく発信する「変革」と「多様性」は私達にも大きな刺激となります。「多様性」；魅力的な言葉です。

そんな中、例年通り「山のトイレを考えるフォーラム」が開催されます。今年で10回目を迎えます。継続することが一番重要と思い、多くの皆さんの励ましを支えに頑張っています。

第一部の講演をお願いした北大・船水先生には、「最先端技術としてのドライトイレ」についてお話を頂きました。お忙しいところをありがとうございました。

第二部の資料編は今年も多士済々です。今回は編者が好む次の言葉を思い浮かべます。作家・塩野七生さんが名著「ローマ人の物語」で紹介する、2,000年前のユリウス・カエサルの言葉。「人間ならば、誰にでも現実のすべてが見えるわけではない。多くの人は見たいと欲する現実しか見ない。」見たくない現実を見つめ苦闘する仲間がいます。山上のし尿や汚泥を担ぎ下ろす各地の活動の紹介を頂きました。北海道・幌尻山荘の苦労を日高山脈ファンクラブの高橋様より。早池峰山頂トイレの17年間を岩手・永田様より。国立公園大山頂上トイレの汚泥キャリアダウを鳥取県・柳楽様より。四国・三嶺山頂トイレの汚泥搬出を徳島・暮石様より。

また、北と南の世界自然遺産の地域からの発信も。知床・羅臼岳での携帯トイレ利用促進を環境省・高橋様より。屋久島の山岳トイレ問題を、屋久島町・塚田様と屋久島野外活動総合センター・小原様から紹介頂きました。北の利尻山からは熱心なトイレ対策を利尻富士町・住吉様から、地元ガイドの目での報告を渡辺様から、携帯トイレのアンケート結果の報告を住川様から頂きました。上川支庁の大道様には御苦労されている黒岳バイオトイレ運用状況を寄稿頂きました。皆さんお忙しい中、本当にありがとうございました。

山のトイレ問題を介して全国にご縁が出来た仲間がいます。西鉄山友会・伊藤様より福岡県・宝満山バイオトイレのことを寄稿頂きました。槍ヶ岳山荘の穂苅様は先進的な山小屋経営者です。全国に同志の輪を広げていきたいものです。

また、昨年に引き続き環境配慮型トイレメーカーである大央電設工業殿(ハイトイレ)、正和電工殿(ハイトイレ)、リンフォース殿(土壌処理)からも貴重な報文を頂きました。参考にして頂ければ嬉しく思います。

この10回目の資料集を、例年通り皆様のお手元に届けることが出来る喜びと共に、少しでもお役に立てるようにと願っています。

(小枝正人)